

眼瞼下垂（がんけんかすい）とは



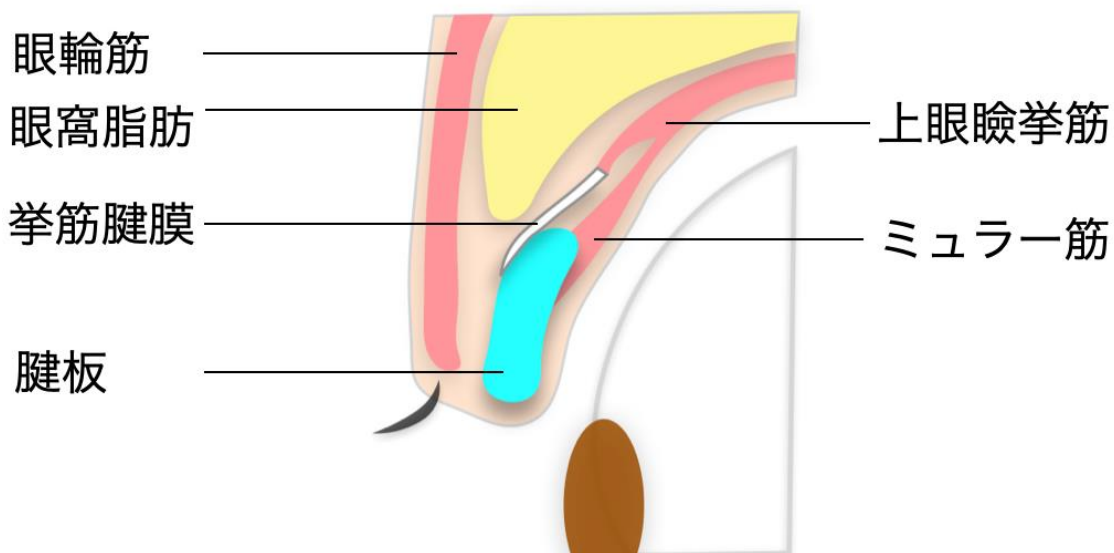
上まぶたが下がってきて、物が見えにくい状態のことをいいます。皮膚のたるみ、目を開ける腱膜のゆるみなどが原因です。

まぶたが下がって見えにくいため、無意識に顔を上げたり、おでこの筋肉をたくさん使っている場合が多く、肩こりや首の痛みなどにもつながります。



解剖

上まぶた（上眼瞼）を上げるときは、主に上眼瞼挙筋が収縮することで、その先に付着する挙筋腱膜が瞼板（板状の線維性結合織）を引き上げるという動きが行われる。



原因

● 先天性眼瞼下垂

生まれつきの神経異常、上眼瞼挙筋の発達不全などによる下垂。

生後すぐから認められる眼瞼下垂は、その後改善する可能性、きちんとした検査ができないことなどの理由から3歳頃までは経過観察する場合も多いです。その後も無治療な場合は、弱視や斜視などの原因になりやすいため治療が必要となります。

● 後天性眼瞼下垂

加齢による上眼瞼挙筋や腱膜の老化、コンタクトレンズ長期使用などによる上眼瞼挙筋の筋力低下、動眼神経麻痺、重症筋無力症など。

そのほか、上眼瞼の皮膚がたるむこと（皮膚弛緩症）などによる偽眼瞼下垂があります。



症状

主な症状は以下のような物があります。

まぶたが下がるため

- ・ものが見えにくい
- ・眠そうに見える など

頑張ってみようとして他の眼以外の筋肉を使うため

- ・頭痛
- ・肩こり
- ・疲れやすい など

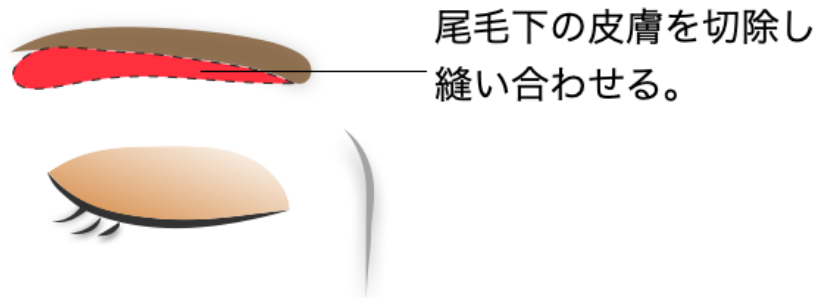
治療

眼瞼下垂に対する治療法は、症状・病態などを考え相談しながら決めていきます。

代表的な手術方法には下記のようなものがあります。

① 皮膚切除術

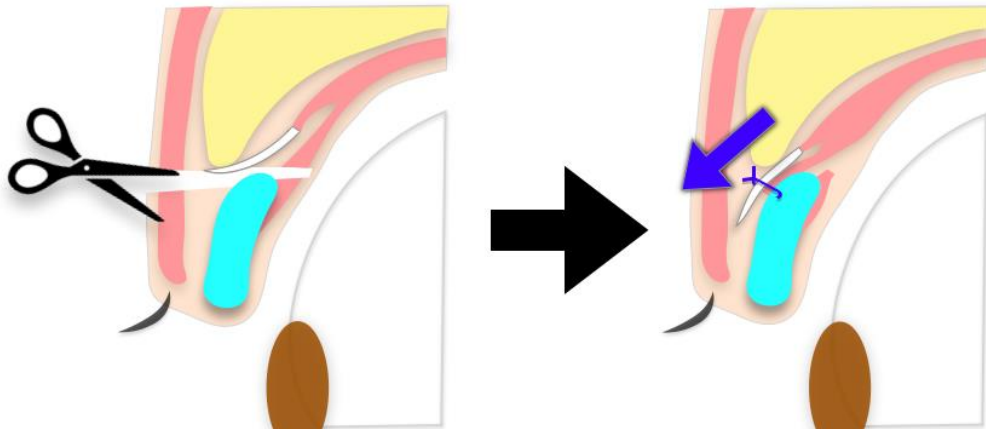
上眼瞼挙筋の機能は保たれているものの、上眼瞼の皮膚がたるんでいることで視野が狭くなっている場合に行われます。余分な皮膚、皮下脂肪、眼輪筋の一部などを切除し縫い合わせます。



② 挙筋前転法

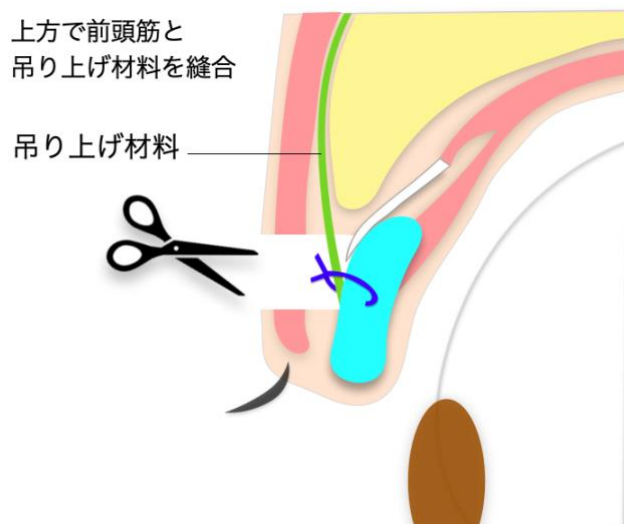
上眼瞼挙筋がゆるんでしまっているため、瞼板を持ち上げる機能が弱まっている場合に行われます。皮膚切除術も同時に行われることもあります。

瞼板と挙筋腱膜を剥がして腱膜を前方向に滑らせたのち（前転）、改めて瞼板に固定します。



③ 前頭筋吊り上げ術

上眼瞼挙筋が機能しなくなった症例に対して、額の筋肉（前頭筋）を収縮させることで瞼を上げるようにします。眼輪筋下にて、前頭筋と瞼板の間に吊り上げ材料を渡して固定することで、前頭筋と瞼板の動きを連動させます。



術後について

☆ 術後通院

手術後約1週間で、外来にて抜糸となります。

その後、腫れの具合などをみるため数回来院いただく場合が多いです。

☆ 入浴・シャワー

どちらも手術翌日から可能です。

キズの部分を避けていただければ、手術当日であればシャワーは可能です。

☆ キズの腫れ

1～2週間が目安です。

ただし、術式、個人差により腫れる期間が長引く場合もあります。

☆ 洗顔、メイク

洗顔、目元を避けてのメイクは手術翌日から可能です。

目周りのメイクは腫れ、感染等の原因となるため抜糸、腫れが落ち着いてからになります。

☆ 飲酒・運動・長時間入浴など

キズの腫れが強くなる原因となるため、1-2週間は控えてください。

Q&A

Q. 治療は保険適応ですか？

A. 保険適応です。(見える範囲が狭まっているという症状の方)

Q. 手術にはどのくらいの日にちがかかりますか？

A. 簡単なものや片側の場合は日帰り手術でできますが、抗凝固薬を服用している場合などは経過を診るため入院をお勧めします。

Q. 全身麻酔ですか？

A. 原則局所麻酔です。前頭筋吊り上げ術など、手術によっては全身麻酔になります。

Q. 手術時間はどのくらいですか？

A. 両側で30～90分程度です。(前後することがあります)

Q. 手術中や術後は痛いですか？

A. 局所麻酔で行うため、麻酔薬を注射する時は痛みがあります。手術中や術後の痛みはほとんどありません。

Q. キズアトは残りますか？

A. 二重のラインと一致するようなキズは目立たちにくく(瞼縁皮膚切除)、眉下のキズは眉毛に隠れます(尾毛下切除)。